

福井大学の各学部等の理念

	理 念	概 要
教 育 学	新しい時代に生きる子どもたちの未来をひらく教師をめざして	教師に課せられている社会からの要請は新しい時代に生きる子どもたちの育成です。人を育てるといふ重責を担う教師は広い視野と高い専門性が求められます。本学部において育てようとする質の高い教師は地域社会の未来に資する人材を育成する責務を負っています。
医 学	愛と医術で人と社会を健やかに	真理を探究する知への愛： それは、古代ギリシャの哲学者プラトンや医学の父ヒポクラテスが最も信頼を寄せた愛、すなわち、自分自身の「無知」を自覚し、つねに真理の側へと身を置き、それを不断に求め続けることを自らに課す、極めて厳しい愛です。私たちは、最新の医学・看護学知識や技術を学び、修練すると共に、次世代の医学・看護学を開拓する研究を推進します。 人命を尊重し人間に共感する人への愛： それは、病に臥していようが無かろうが、日々の生活を営む人々のために自らの知識と知恵を捧げようと志す、徹底した無我の愛です。私たちはその具体的な姿を、福井藩蘭方医、笠原良策（白翁）（1809－1880）に見出します。笠原は、幕末まで死病として恐れられた天然痘の流行を食い止めるため、既存の医学や因習に囚われることなく、常に最先端の医学を探求し続けた「知への愛」の実践者であると同時に、自らの命を賭して種痘の普及と実施に尽力し、人と社会の健康に一生を捧げた人物に他なりません。私たちは、旧福井医科大学学歌に謳われた“杏林愛に芳しき”医療従事者や研究者を育成、輩出し、人と社会を健やかにする事に貢献します。
工 学	夢を形にする技術者、IMAGINEER をめざして	すべての人が健やかに安心して暮らし、豊かさを持続的に享受できる社会が求められています。このような社会を実現するため、科学・技術の分野で貢献しているのが工学です。そして、工学に求められるのは IMAGINEER すなわち夢を描き (IMAGINE)、それを形にする人 (ENGINEER) なのです。 福井大学工学部・工学研究科には、工学のほぼ全領域にわたる多彩な人材が集っています。わたくしたちは、広く工学全般にわたって教育研究を行い、その成果を社会に還元していくことで豊かな社会の持続的な発展に貢献します。
国際地域学	未来志向で、地域に織り込む世界へのまなざし	19世紀の終わり頃、欧米諸国が地球的規模での経済競争を繰り広げる中で、諸国が求める世界商品として登場したのが羽二重という日本の絹織物でした。そしてこの輸出向け羽二重の随一の産地として頭角を現したのが福井です。そこには、いち早く世界の情報をつかみ、先行する産地に教を請いながら自ら技術の改良に取り組むという、地域の発展を希う福井の人々の多大な努力がありました。その後長きにわたり、福井は繊維王国と呼ばれるようになりますが、繊維のみならず福井の多くの産業の発展は、常に世界の市場を相手とするものでした。国際地域学部に集まる学生、教職員は、こうした福井の歴史を胸に刻み、国際情勢を知り、異なる文化や価値観を持つ人と交わりながら、地域に足場を置き、活気ある心豊かな社会を創っていきます。
附属病院	最新・最適な医療を安心と信頼の下で	最新： 県内唯一の特定機能病院として患者の皆様のご理解の下で、日々、最先端医療の研究・開発・実践に努め、難治性の病気の克服に挑戦し続けています。 最適： 超高齢化社会を迎えてますます重要となる「患者の意思決定権」に沿った医療の推進を強く意識し、最先端の医療だけでなく、患者および家族の思いを反映した選択可能な医療を推進する病院であり続けます。 安心： 病院の総合的レベルの国際規格である ISO9001 を国立大学病院では 2 番目に認証取得し、また、初めて安全管理と感染対策を統括する医療環境制御センターを設置し、医療事故や院内感染の無い、安心して診療を受けて頂ける病院であることを心掛けています。 信頼： 最新・最適・安心に加え、すべての医師・コメディカル・事務職員は、患者の皆様のお気持ちを十分にお聞きし、それを理解し、心の通い合う医療を行うことにより患者の皆様信頼して頂ける病院であるよう努めています。
附属学園	夢をもち未来を生きる子の育成	子どもの将来を見通して生涯の学びの基盤を育むこと、そして自己の確立と協働や社会参加を通して共に支え合う社会を実現するために求められる力を育むことを目指して、中長期的な視点から先進・先導的な教育実践に取り組みます。